
スライムの日常

秋山悠真

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スライムの日常

【Nコード】

N2956P

【作者名】

秋山悠真

【あらすじ】

ただのスライムです。

それがなにか・・・？

僕はスライム！

いつもプヨプヨしたり、とろけたりする毎日さ。

羨ましいでしょっ。

でもね、たまに襲われちゃうんだっ。

弱いからってね、人間にみつかるたびに攻撃されるんだ。

この前なんか、子供にまで追いかけて、あやうく溶けて消えちゃうところだったよ。

なんでみんな僕を攻撃するのさ。

僕を倒したって、経験値は1ポイントなんだぞ！

だからね、今日は見つからないように、どっかに隠れてよっ……。

ピョコピョコと跳ねて前に進む。

目的地もないまま進む。

実はね、僕達に居場所なんてないんだ。

あんまり遠くに行くと強い魔物にやられちゃうし、

仲間どうしで集まると、くっついて合体しちゃうんだ。

しかも合体すると、その中で一番強いスライムに乗っ取られて、僕は消えてしまう。

そんなのやだな。

ピョンピョン・・・ピョコピョコ・・・。

あ、ベスちゃんだっ。

あの赤いスライムは、ベスちゃんだよ！

可愛いな。

あのプヨプヨ感、たまんないなあ。

よしっ！

今日こそお友達になってもらうんだっ。

「ベスちゃん！ 待つてよ」

「げっ、着いてこないでよ！ただのスライムなんかに興味はないわっ！」

ああ～～行っちゃっよ～～。

「待つてよベスちゃん、一回でいいからトロトロさせてよ。」

「キ、キモッ！ あんたみたいな経験値低い男なんか、相手にしないわ！！あっちいつちやえ！！」

「ぺっぺっ」と体液を吐いてくるベスちゃん。

ああ、行っちゃった・・・。

そんな・・・

あ、でもベスちゃんの体液が残ってるよ。

よし、あれだけでもトロトロしちゃうんだ。

トロトロ～～。

ああ気持ちいい・・・。

やっぱりベスちゃんは最高だよ。

よし、こうなったら合体して、経験値増やしてもう一回アタックするんだっ。

覚悟を決めるぞ！

「ようスライム、お前なにやってんだよ？」

ぎゃああああああ！！

メタル系スライムだよっ！

とっても硬くて強いんだ・・・ブルブル・・・怖いよ。

「ここはお前の来るとこじゃねえ、さっさと消えな。」

「はっはい！！」

こ、恐かったよ。

メタル系はね、魔法も使えるんだ。

僕なんか、そりゃ一発でやられちゃうよ・・・。

あ、ちょっとまって！

向こうに見えるのは、勇者だよ！

カッコイイ剣と、大きな盾を持つてる。

強そうだな〜。

ピョコピョコ・・・。

勇者に着いていくんだっ。

僕も強くなりたい。

勇者はね、強いから僕なんてもう相手にしないんだ。

だから、一緒にいても平気なんだ〜。

しかも仲間になれば、僕にも経験値が入るんだぞ！すごいでしょ！！

ピョコピョコ・・・。

「勇者さん、勇者さん、僕も一緒に連れてって下さいっ！！」

「あ、誰だお前？・・・なんだスライムか、ちよ〜どいいや・・・。

」

ザシュッ！！

ああ〜そんなあ・・・

「悪かったな、後1ポイントでレベル上がるところだったんだわ。」

チャララチャッチャッチャ〜

「お、レベル上がった、サンキューな。どれどれ早速覚えた魔法をと・・・。」

ああ〜溶けちゃうよ・・・

ベスちゃんと、お友達になりたかったなあ・・・。

おしまい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2956p/>

スライムの日常

2010年12月30日01時45分発行